



東野高等学校同村会会報
No.24 2025年冬号
東野高等学校同村会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二本木112-1

40周年記念大同窓会開催



正面には食堂と芝生、右には大講堂、左にはホームルーム通り。まるで東野に帰ってきたかのような空間を造り、チェロ奏者としても活動されている二宮道成さん(六期卒業)の生演奏により、会場が幻想的な雰囲気演出されました。

演奏終了とともに、暗転した会場には学校建設当時の映像を流しました。何もない土地に校舎が形を成していく様子に、皆さまそれぞれが「四十年の歩み」を感じてくださっていたように思います。

お忙しい中、ご出席くださった中川進理理事長、平井廣治学校長よりご挨拶をいただき、前学校長の小野田正利先生の乾杯のご発声で会はスタート。

残念ながらご出席が叶わなかった約四十名の先生方からも、心温まるメッセージが届いており、会場で映像や音読により紹介をいたしました。

進行ナビゲーターは、声優の一ノ瀬宏昭さん(三期卒業)と役員の毒島美泉さん(三十二期卒業)が務め、終始なごやかな雰囲気で行いました。



オードブルやサンドウィッチ、サラダ、お寿司、ケーキなど、心を込めて用意した料理を囲みながら、歓談の輪は広がっていました。また、四十年の歴史を年表にまと

め展示したところ、その長さはなんと十五メートルに及びました。会場の壁いっぱいには貼られた年表を眺めながら、時代ごとの思い出を分かち合う光景も印象的でした。



同村会が会報等で呼びかけをし、取りまとめたきた、卒業生のタウンページ(仮)に繋がる、卒業生によるお仕事紹介コーナーも設け、さまざまな分野で活躍する同窓生の姿を紹介しました。世代を超えて刺激を受け合う、東野ならではの温かいつながりを感じるコーナーとなりました。それら卒業生が営むお店の商品。コーヒー豆、ワッフル、お茶、お食事券などを景品とした、くじ引き大会も大いに盛り上がりしました。

会の後半では、「先生への一分間インタビュー」で懐かしいお声やエピソードが次々と飛び出し、笑いと拍手が絶えませんでした。

会場のあちこちで、先生を囲んで思い出話や近況を語り合う姿が見られ、順番を待つ卒業生の列ができるほど。再会を心から楽しむ皆さまの笑顔に、私たち役員一同も胸が熱くなりました。準備期間中は試行錯誤の連続でしたが、多くの方々のおかげで力添えにより、この日を迎えることができました。ご参加くださった先生方、そして全国から駆けつけてくださった会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。



日時: 2025年6月29日(日)
会場: くすのきホール

ご出席くださった先生方より、感想をいただきました。

●橋村 重美 先生

同窓の「窓」とは、東野での三年を、厳しい外界からモラトリアムとしての時を過ごす盾であり、その間に得た学びを糧として、美しい外観として立ち向かうための装いでもあります。そうした一時期を互いに共有出来ていた者たちの集う貴重な場が、同窓会なのだと思います。

当日、多くの卒業生、そして先生方にお会いすると、皆様に微笑んで共に過ごした思い出に浸り、喜びに満ち満ちて話しは尽きず、大変有意義な時を過ごす事が出来ました。東野へのロイヤルティを高めるこのような機会が、今後も継続される事を期待します。

●望月 秀和 先生

会場は室内陸上ができるのではないかなと思われるほど大きい。大同窓会と銘打ち、卒業生すべてを対象にするのだからスクールは会場に負けていない。

年月をかけ、企画・立案・運営に携わってきた多くのスタッフの尽力に敬意を表します。

同村会の歴史が垂れ幕に書かれていた。それも模造紙などではなく、テントに使うような生地に印刷されている。これにも驚いた。行間からその時々エピソードを思い出すことができた。

とても楽しい集まりでした。感謝です！

●藤井 亮 先生

大同窓会にご招待くださりありがとうございました。懐かしい面々に会える貴重な機会を作ってください、とても充実した時間を過ごさせてもらいました。私が東野高校でお世話になったのは二〇一一年から二〇一六年です。あれから十年が経過して、働き盛りになった元生徒たちのがんばっている姿を見て、私も一層がんばろうという気持ちになりました。

今回ええなかった元生徒の中には、その後どう生きているのだろうかかと気になる子たちが多数います。次の機会があれば、そのときはぜひお会いしたいです！



同級生に2人も会えて嬉しかったです。精神的につらい時期でしたが、今後の人生に希望が見出せました。ありがとうございました。



大同窓会にご参加くださった皆さまからたくさんの温かい感想をいただきました。

その一部をご紹介します。



学生の時は話したことない同期と、新しく出会うことができました

大同窓会という暖かな機会を与えていただきありがとうございました。心から「参加して本当に良かった」と感じています。

ケーキも料理もたくさんあっておいしかったです

会いたかった先生がいらしてなかったのが残念でした

久しぶりに先生に会えて嬉しかったです。もっとゆっくり話したかったです

お酒無しで「どうかな？」って思ったけど、充分楽しかった

残念ながら当日はご欠席でしたが、温かいメッセージをお寄せくださいました教職員の皆さま

(五十音順)
市橋 公生先生 一内田菜穂子先生
大井 (旧姓田中) 慶子先生
大塚 大介先生 大脇 光輝先生
小川 紀代美先生 尾崎 拓也先生
小澤 健一先生 加藤 優子先生
熊谷 (旧姓吉田) 圭子先生
栗林恵美子先生 小島 若男先生
是澤 博昭先生 清水 敬作先生
染村 和代先生 高秋くみ子先生
塚田 智雪先生

土屋 伯姓小太 理恵子先生
土屋 雄先生 富田弥千代先生
中出 清治先生 名取由美子先生
西本 敬先生 平塚 美紀先生
松岡 郁夫先生 松浦 良彰先生
丸山 剛司先生 溝口 守先生
森本恵美子先生 山畑 定男先生
柚木 哲治先生 横手真理子先生
吉田 一子先生 石岡 憲雄様
盛田麻里子様

先生と連絡先の交換ができました

料理やケーキも豪華であれで3500円は安かった

お腹いっぱいになりました

キッズスペース、ありがたかったです

くじ引きでコーヒー豆当たりました(^-^)

毎年開催して下さい！

ご出席くださった先生方の一覧です。

【現職の先生方】
中川 進理 理事長
平井 廣治 学校長
(以下五十音順)
相田 高宏先生
五十嵐文彦先生
河野 秀夫先生
比木 淳一先生
佐藤 祐紀先生
菅原 英雄先生

武井 智巳先生
田中 美和先生
仲本 進一先生
藤井千栄子先生
森 俊朗先生

【退職された先生方】(五十音順)
今関 雄史先生
岩本 昌子先生
荻沼 茂先生
小野田正利先生
葛生 翠先生
栗原 良子先生
鹿間 光晴先生
関根 昭夫先生
高根 大輔先生
竹下 雄貴先生
橋村 重美先生
足田 哲也先生
藤井 亮先生
細川 貴司先生
前田 麻里先生
望月 秀和先生
山尾 麻耶先生
山田 英紀先生

ご出席くださった先生方により感謝申し上げます。先生方と過ごした再会の時間は、とても温かく、かけがえないひとときでした。



大同窓会開催にあたり、ご協力いただいた卒業生のお店

●フラワーショップnohana / 神田和彦さん(5期) ●横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期) ●音楽喫茶mojo / 工藤昭太郎さん(2期) ●コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期) ●焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期) ●狭山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)



近隣だけでなく他県から学ぶにきていた生徒が何人もいました。こうした教育活動と世

戦後八十年という節目の今年、**進学園**は創立一〇〇周年・東野高等学校は開校四〇周年を迎えることができました。

これも日頃より本学園・学校をご支援くださっている関係者の皆様、また卒業生の皆様のお蔭と感謝申し上げます。

本学園の創始者丸山鋭雄先生が、都下北多摩郡保谷村（現在の西東京市）の自宅で六人の子どもたちとともに**進進小学校**の開校式を行ったのは、百年前の一九二五年（大正十四年）九月十日でした。

「**進進**」の名づけ親は、明治・大正・昭和を代表するジャーナリストであり、国民新聞（現在の東京新聞）の前身の一つを主宰した徳富蘇峰氏です。氏は中国の古典「孟子」の（源泉混濁として昼夜をすてず。あなに**進進**てしかる後に進み、四海にいたる。本ある者はかくの如し。）の句から「**進進**（満）ちて進む」即ち「**進進**」を学名に冠されました。個性を伸ばすことによって人格を**進進**（満）たして世に進み出る。という学名は**進進教育**の本質をあらわしています。

「人間教育と個性教育」を追求された丸山先生の教育実践は、その情熱と相俟って、朝日・読売・東京日々（現・毎日）といった新聞にも度々紹介されました。また学園の学風を慕って

学園創立100周年・学校開校40周年を迎えて

中川 進 理事長

間の評価は周囲の心を動かし、学園の賛同者を増やしていき、学園創立の六年後には幼稚園が創設されます。その後、一九四五年（昭和二十年）の東京大空襲によって校舎が被弾し、武蔵野市に移転した後、**進進中学**と高校を相次いで開設しましたが、狭い校地の中に、幼・小・中・高と四校が一緒に、教育環境がもう一つ整わず、苦難の時代だったともいえます。

学園は一九八五年（昭和六十年）、現在の人間の地を新天地と定め校名も改め、新生・**進進学園東野高等学校**がスタートし、今年で四〇周年を迎えました。この間、度重なる大震災や感染症の大流行、一方ではAIやロボットの急速な発達。これから先、時代はどのように変化していくのでしょうか。どのように変わっていくのでしょうか。とも、本校は今後も社会の歩みに遅れることなく、世に必要な人材を輩出できる教育機関であり続けなければならぬ、との思いを新たに次の一〇〇周年・五〇周年に向かって学園・学校関係者一同邁進する覚悟です。

同窓の皆様にもより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



総会報告

二〇二五年の同村会総会が、去る九月十四日に開催され、オンライン参加も含め、これまでになく約三十名もの会員が総会に出席をしてくださりました。

当日は、**進進祭**開催中にもかかわらず、中川進理事長並びに、平井廣治校長がご出席くださり、お二方からご挨拶も頂戴しました。

議案討議では、本年六月二十九日に開催した大同窓会の報告や収支、東野四〇周年の記念として、体育館への橋の修繕費の一部を寄付したことなどを含む決算・監査報告、二年連続で新たな役員が選任されたことも、特筆すべき議案でした。

橋の修繕費の寄付は、毎回会報で案内がされている、同村会基金への皆様からの寄付から充てられたこと等の説明もされました。

活動実績としては、同村会が注力してきた、会員の職業データベース「卒業生のタウンページ（仮）」が、まだ件数が少ないとはいえない形になったこと、今後の活動方針としては、物価高騰による財政圧迫

から、年に二回発行・郵送していた会報を、不本意ながら一年一回の郵送に転換せざるを得ないことが報告され、満場一致での議案書採決となりました。

総会は、少しかしまった場ではありませんが、同村会の運営にとって大切な集まりです。同村会の活動を知っていただく機会として、また、卒業生として東野とのつながりを見つめるためにも、ぜひ、次回の総会に出席をしていただけると嬉しい限りです。

今後とも、同村会をよろしくお願いいたします。

採択済みの議案書はこちらよりご覧ください。↓



同村会では、**進進学園**一〇〇周年・東野高等学校四〇周年を記念し、体育館前の橋の修繕費の部を寄附いたしました。



❖ 同村会基金 ❖

卒業生の想いを、寄付という形で学校に届けるために設立しました。ぜひご協力をお願いいたします。今回の周年記念では、橋の修繕費にもこちらの基金を活用いたしました。

発行者

東野高等学校同村会（同窓会）

〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1 東野高等学校内

FAX 04-2934-6462

メールアドレス info@dousonkai.com

ホームページ https://www.dousonkai.com



お振込先
埼玉りそな銀行入間支店 普通口座

●口座番号 1384371

●口座名 東野高等学校同村会

(ヒガシノコウトウガッコウドウソンカイ)

同村会からの最新情報やお知らせは「**同村会ブログ**」をぜひご覧ください。

